

Title	気賀勘重解説 フィリップヴィッチ氏 経済政策
Sub Title	
Author	星野, 勉三
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.4 (1909. 5) ,p.537(127)- 540(130)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	新著批評
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090501-0127">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090501-0127</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

般に想像する所なりしも、氏は獨逸皇帝との間に存する私交關係を利用して先づ私人的接近の機を作り遂に進みて兩國間に最も親密なる國交關係を樹立するに至りき。獨逸に取りて最も大なる不幸の原因たりし合衆國の關稅行政上の施設は適當なる變更を加へられ合衆國に取りて通商上有利なるものとなりたると同時に獨逸の満足する所となりき。

合衆國に在住する猶太人は、露國及びルーマニヤに於ける其同胞の状態を改善せんが爲め之等諸國に對して取りたるルーズベルト氏の斡旋を長く忘却せざる可し。

氏は露國在住猶太人の取扱問題に關し重大なる請願を受くるや、直ちに外交上の徑路を経て露國政府が斯かる請願を嘉納するの意あるや否を問へり。合衆國政府の提出したる此内意知照の外交文書は實に同請願の實質を包羅せるものにして、露國政府は同事件を以て單に一の内國行政問題なりとなし充分の禮讓を守りて同請願の受納を拒絕せ

りと雖も、之によりて良好なる無形の效果を得たるや疑なき所なり。氏は又コンゴ國の状態改善に關しても積極的にして且つ強固なる意見を有したりき。彼のカストローは和蘭政府の干涉政策によりて困難なるヴェネズエラ國首の地位より放逐せられたりと雖も、若し華盛頓政府の默諾徹りせば斯かる結果は得られざりしならん。古倫巴亞及巴那馬の兩國に對する關係も亦頗る満足す可き状態にありて之が爲め地峽運河の開鑿を可能ならしめたり。玖瑪は合衆國の占領平定によりて其内亂を免かれ今や新たに困難なる自治の旅程に上れり。之れ國家が斯かる場合に於て信義を確守す可きの好模範を世界に示したるものと云ふ可し。弗立賓に於ても平和は保證せられ行政制度は改革せられ着々自治の大主義に向て其歩を進めつゝあるなり。彼の團匪事件の結果合衆國に割賦せられたる償金の大部分を返還して清國の感謝を購ひ、將來に於ける同國青年教育の大部分を合衆國の掌裡に收めんとするか如き其遠謀雄圖の存する所蓋

想像に難からざるなり。吾人は合衆國が其艦隊を以て世界週航の壯舉を遂げしめ到る所に其國旗を翻して間接に其國威を發揚せるの效果に就ては茲に敢て贅言を費すの要なきなり。

結論

ルーズベルト氏の個人的事業中其最も大なるものは日露講和條約に關する盡力も巴那馬運河の買収なりとす。提東に於ける平和の問題は未だ吾人の記憶に新なる所にして氏の私人的活動によりて此空前の大戦役は終局せられしなり。其企圖の雄大にして其措置の勇斷果敢なる、氏に非ざれば到底企及す可からざる所なりとは外交界に於ける評論の一致する所なり。巴那馬運河の買収によりて同地峽に於ける積年の紛争を解決し今や氏の組織せる一大開鑿隊は盛んに此未曾有の大工事に従事しつゝあるなり。竣工の曉には世界人類を裨益すると少小に非ざる可し。

今や氏は行政長官の地位を去れるも氏の遺業は夥しく自宮に止まれり。氏は諸種の問題に就きて公

衆の注意と興味とを喚起せり。而かも之等の問題を解決せんが爲めには合衆國は將來に於ても氏の助力を族たある可からざる可し。任期短にして其完了せる事業は多からざりしと雖も氏は先見の明を以て遠く社稷の前途を洞察し後繼者に向て國家百年の爲め爲さる可からざる事業を指教せり。立法及行政の當局者は將來長く氏の指教せる諸種の問題を解決せんか爲めに奮闘せざる可からざるが故に氏の開始せる所は其偉大なる人格の活動紀念として長く彼等の念頭に止まる可し。(完)

新著批評

氣賀勘重解説

フィリップ・ポヴィツチ氏經濟政策

フィ氏の經濟書は獨逸語の經濟學教科書中最良の評ありて特に其第一卷經濟原論は既に氣賀氏によりて邦語に翻譯せられ學生の寶典たりしが今又第二卷經濟政策の翻譯を見るに至れり。

抑も經濟政策學はラッ（同氏經濟政策學第一版は一八二八年の出版に係る）以來獨逸に於ては經濟學中の獨立せる一分科と認めらるゝに至りたれども其他の諸國の學者は此區別をなさず産業に關する各種の問題は經濟原論中に於て簡短に一部分のみ之を論ずるが故に經濟上の實際問題に關する統一せる議論を缺き學習に際して甚だしき不便なき能はず而して之を除かんと欲せば經濟政策學或は應用經濟學又は經濟各論と稱する經濟學の一分科を認めざる可からず。

經濟政策學は唯獨逸に於てのみ行はるゝ所なれども同國に於てもラッの著述出版以來既に八十餘年を経過せるに拘はらず之に關する著述は甚だ少なく其大なるものに至りてはロッシヤ、シエーンベルヒ等又其小なるものに至りてはコンラード、フィッポヴィチ等あるにすぎず然るに學生の通讀用としてはロッシヤ、シエーンベルヒは大に失し又コンラードは唯問題を多く蒐集するのみにして統一を缺くの嫌ひあり而して此間に於て其最も適當

なるものはフィ氏の書を措て他に之ある可からず。フィ氏經濟政策は二卷より成り上卷は農工業及び對外商業政策の部にして下卷は運輸交通内國商業政策及び所得政策の部なり而して經濟政策に關する在來の著書は其分類をなすに當たりて材料の性質を標準として之を農工商等に分離する例とすれどもフィ氏は此の分類法を以て遺憾の點多しとなし問題を標準として上卷を生産組織政策及び生産政策とし又之を更らに農工業等に分類せり即ち左の如し。

生産組織政策（農 業）  
 生産政策（農 業）  
 對外商業政策（農 業）

而して此の上卷は今回氣賀氏の翻譯する所にして其原書は一九〇五年出版の第三版を基礎とせり然るにフィ氏は下卷（之は昨年の出版に係り近々中氣賀氏によりて解説さる可しと云ふ）を分類するに當りては以前の方法の不可なるを悟り材料の性

質を標準として左の如く分類せり。

交通 政策——生産政策と生産組織政策。  
 内國商業政策——生産政策と生産組織政策。

となせしが最後には又問題を標準とせる分類法を採りて所得政策を附加せり之によりて見れば上巻と下巻とは異なる標準によりて分類され又下巻の前半と後半とも同様の缺點を存するは我輩の贊成し能はざる所なり然るに今年上巻の第四版出づるに當り氏は此分類法を改め下巻と一致せしめんが爲めに。

農 學 政 策  
 工 學 政 策  
 對外商業政策

となし又其内容に多少の改正を加へたり（尤も氣賀氏が解説に従事するに當たりては未だ此新版は出版せられざりしものにして同氏は追て其譯書を右の如く改む可しと云ふ）。

フィ氏の此著は即ち教科書なるが故に其所論オリジナルにあらずと雖も公平の見地より他の諸

大家の研究の結果を總括して經濟政策に關する學說を通覽することを得せしめたるは確かに其の功と稱すべきなり然ども氏は唯産業に關する政策を論ずるのみにして、産業の性質、各産業相互の關係、其國民經濟上に於ける地位、其の歴史等に付ては全然論ずる所なし之れ氏の主義より見れば或は當を得たるものならんも學習の便宜上より見れば大に缺くる所ありと云ふべし。

今氣賀氏の譯書を見るに文章頗る平易にして難解の箇所少なく（尤も難解の箇所全然なきにあらずと雖も之れ原書に於ても既に難解なるものにして之を明瞭ならしめんとせば之を五倍十倍に引き延ばして説明せざるべからず隨て他の部分と權衡を失ふの恐あらん）時に或は原書に於ては漠然たる所も之を總括し又は解説して明瞭ならしめたり而して又各國の農工業の如きは其國に依りて特有なる歴史を有するが故に我國には全然譯語なき文字續出し以て翻譯家の大に困難とする所なるに拘はず氣賀氏が一々之に譯語を附してよく此難關を

切り抜けたるは大に賞讃に値する者と云ふ可し。要するに此の譯書出で、我が邦經濟書中に經濟政策學の一書を加へ以て經濟上の實際問題に關して統一せる學說を知ることを得るは實に學界の慶事にして我邦の經濟學は少なくとも此點に於ては確かに英米佛の斯學に比して一日の長たるべきものなり。(星野勉三)

## 財政學

堀江歸一著

獨逸の如き干涉國に於ては國家は常に國民經濟上の干涉に勉むるが故に隨て經濟政策の研究を促しフイ氏(尤もフイ氏は維納生れにして奧太利人なれども兩國共に獨逸語を使用し又學問上に於ては全然特色を同ふし一國と見做すべき者なり)の著述の如き良書の出づるは自然の勢にして財政難を叫びつゝある我國に於て堀江氏財政學の如き好著の出づるも亦偶然にあらずと云ふべきか。

我國の財政は維新以來常に困難を極め其順調の時期として見る可きは唯僅かに明治十九年頃より日清戰爭以前迄のみなりとす故に財政問題は常に經世家の念頭を離れずと雖も之を學理的に研究し以て施政の方針を闡明すべき財政學の著書に至りては甚だ少なきは吾人の大に理解に苦む所なり而して或は租稅論公債論の如き單行本なきにあらずと雖も其一貫せる財政學の著書に至りては或は明治廿何年頃に出版せる時勢後れのものか或は三四百頁を以て財政學の初歩を説明せる極めて幼稚なるものか又はエエベルヒの財政學とエルスターの經濟辭書とを組合はせて作製せるもの等のみにして其稍見るに足るべきものは小林氏比較財政學あるのみならん然るに今堀江氏の研究の結果を總合せる財政學の著述に接することを得たるは實に我學術界のみならず又財界の慶事なりと云ふべし。此書は獨逸流の分類法により全編を分ちて。

第一編 總論并に經費論  
第二編 國家收入論

### 第三論 收支適合論

#### 第四編 歲計豫算并に財務行政論

となし以てよく財政學に關する知識を抱轄せり由來財政學の著書は獨逸語に多く英語にては唯バスタブル アダムス等數種あるにすぎざれば斯學を論ずる學者は獨逸流に偏する嫌あるに拘はらず堀江氏は又英書の參照を怠らず特に最近の出版物は之を普く參照したりしかば最新の知識を集めたりと評するも亦過言にあらずべし。

又著書は慶應義塾大學教授として學理の研究に従事する傍ら時事新報記者として常に實際問題の解釋を怠らざるが故に本書は我邦の財政事情を論ずること甚だ適切にして而して特に我邦目下の公債事情に關する所論の如きは又頗る其當を得たりと云ふべし。

又終りに臨んで特筆すべきは本書文體の明瞭なるにあり尤も著者の文章に堪能なるは既に定評ある所にして此好文章と前掲の好資料とより成る本書の價値は茲に又多言するの要なからん。(星野勉)

(三)

Ancient China Simplified 諸夏

原來 E. H. Parker. 教授著

九百八年倫敦出版

支那に關する英文の著述の發行さるゝもの昨今極めて夥しと雖も見るに足る可きもの少し。本書の如き英國なるヴィクトリア大學支那語教授の述作に係れど元來歐洲人に向て支那上古の狀態を説明せんとするを以て目的となし、固有名詞の如きも努めて之が記入を避けあり通俗の書物としては可ならんも學術上に貢獻すと云ふが如きの點は毫も見ることからず。竹書紀年を偽作にあらずとなし、日本の帝室吳の太伯の後なりとの説を強て辯明せるが如き、その俗書たるの價値を高むるものなりと云ふ可し。但しパーカー教授と雖も周の共和以前即ち基督紀元前八百四十二年以前の支那紀元は之を信する勇氣なかりしと見え隨て本書に於ては